

事業所名 ラポールわかたけ

作成日: 令和 2 年 3 月 3 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	特別養護老人ホームを中心とした瓜生地区との長年の交流が途絶えないためには、事業所が主となりどの様に地域と関わり、防災を含め地域との連携・協力体制を構築していくかが大きな課題である。	事業所の役割や強みを活かしながら地域との交流を深めつつ、防災を含め地域との関係づくり・協力体制を築く。	①運営推進会議を活かした取り組みと関係づくり。 ・運営推進会議において、事業所の活動や現状課題など話し合う事で事業所を知って戴く。 ・認知症ケアについて、地域・家族の実情を踏まえ話し合い事業所の強みを知って戴く。 ・防災について消防交え話し合い地域を知り、防災意識を高める。	12ヶ月
				②定期的な地域交流と地域に向けた取り組み。 ・地域交流会の定期開催(年2回⇒年4回)交流の機会を増やす。 ・老人会や町内の活動クラブ等に働きかけ、認知症予防啓発活動の機会を持つ。	12ヶ月
				③地域と共に防災に努め、協力体制強化を図る。 ・町内の避難訓練に参加。地域合同避難訓練実施。 ・運営推進会議や地域の方との会合や反省会を通じ、地域関係や関係機関との顔の見える関係・協力体制を図る。	12ヶ月
2	7	人材育成の場において、職員全体的に勤務年数は長いが多様な雇用形態にて、個々の職員の段階に合わせた必要な研修・指導の個別化が困難であり、又キャリアパスに関する周知度も低く、職員を育てる事に苦慮している。	管理者を含め、職員一人ひとりのケアの実際を把握し、組織全体で職員を育てる取り組み(仕組み)立案・実践に繋げる。	①個々の職員の段階に応じた人材育成の仕組み作り。 ・法人・事業所が掲げる理念を踏まえ、グループホームに必要な人材像を明確にし、人材育成理念を周知する。 ・個々の職員の段階に応じた育成の仕組み作り(誰が見ても分かり易い事業所独自のキャリアパスの構築)。 ・キャリアパスを活用した研修計画を策定(令和3年度)	12ヶ月
				②研修・指導後の理解度の把握と評価 ・苑内研修(合同研修を含む)・外部研修参加。 ・事業所内勉強会(認知症ケア向上会議)にて、研修報告し理解度・評価を図る(チェック評価シート活用)。 ・ケアの振り返り、事例検討にてケアの統一を図る。 ・虐待防止・身体拘束委員会と連動し、ケアの質の向上を図る。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。